



和室の両側に設けられた広縁には天井と床に杉の無垢材を贅沢に使用する。これからの季節は窓を開けて外と中をつなぐ、春や初夏の訪れを感じたい



左、ダイニングコーナーにはピクチャーウィンドウを設け、外の景色を眺めながら食事を楽しむように。右、木をふんだんに取り入れた、自慢の造作洗面台



頭上で存在感を放つ立派な梁に圧倒される。2階の寝室。部屋の一角には、落ち着いた雰囲気の書斎コーナーも設けられる



2階には廊下を兼ねたギャラリースペースが。造作の棚に色彩豊かなアート作品がセンスよくディスプレイされる



障子や組子の扉、デザインガラスなど、趣のある建具の数々は空間に合わせて職人が一つ一つ手づくりしたもの



2階のフリースペースは個性的な琉球皿や古道具、アンティーク家具が配された「寛ぎの場」。セカンドリビングとして利用できる

Company Profile

株式会社 ハウスランド社
吉木事務所

福岡県筑紫野市大字吉木344-1
TEL 092-922-8771
https://www.hi-land.jp

●詳しい情報はP156に掲載

きをもたらず和の設えだ。おうち時間を楽しく過ごすことが定番となった今、室内に居ながら癒しや四季の移り変わりを感知することは何よりの贅沢かもしれない。それができるのもこの家の魅力と言える。扉や欄、洗面台といった建具は家の雰囲気に合うように全てオリジナルで造作し、スイッチカバーは既製品ではなく焼き物を取り付け、スベイン漆喰の塗り壁と間接照明が作り出す陰影、ニッチに飾られた四季折々の生け花、ピクチャーウィンドウが切り取る緑の風景；そうした細部までこだわっているのだ。「自然の素材をふんだんに取り入れた和の住まいを通じて、職人の手仕事や日本家屋の素晴らしさを感じてほしい」と三上社長は語る。

リノベーションによる古民家再生はもちろん、新築でも懐かしさも落ち着いた古民家のような佇まいを醸し出すことができる。ぜひそのヒントをこのモデルハウスで体感して。



室内に至るところに西洋漆喰や和紙の壁、無垢材といった自然素材がふんだんに使われているのも、和の家「吉木」の特徴だ。「こちらモデルハウスには、スベイン漆喰「レピスタンプ」を使用しています。調湿性と吸放湿性に優れており、湿度が多い夏場のムシムシとした不快感を軽減する効果が期待できます。逆に冬は水分を放出して空気の乾燥を防ぐのも特徴です。アルカリ性が強いのでカビやウイルスから守ってくれるとも言われています。通常、漆喰は1.5ミリの厚さに塗ることが多いのですが、当社では5〜6ミリまで厚みを出すことで性能が高くなります。スベイン漆喰は当社の住宅に使用することが多く、女性の方からは「肌がしっとりするようになりました」という声をいただくこともあります。

身体の心地よさもさることながら、特筆すべきは安らぎと落ち着

快適と癒しを兼ね備えた
和の家の素晴らしさを体感